

セッション1 10月8日(口頭発表 10:05~11:15 ポスター発表 11:15~12:15)

- S1-01 バイオスティミュレーションによるクロロエチレン汚染地下水の浄化事例  
○豊成駿・友口勝・吉俊輔(DOWAエコシステム)・横山圭一(ジオテクノス)
- S1-02 原位置浄化のために必要な診断および過硫酸による地下水処置事例  
○比嘉一葉・尾崎和宏・和知剛(エンバイオ・エンジニアリング)
- S1-03 汚染土壌運搬容器の気密性に関する実験  
○中島邦将(清水建設)・深松信良(オオスミ)
- S1-04 バイオスティミュレーション用薬剤の改良 各環境因子効果検討  
○鶴岡佑樹・虫明晋哉・伊藤浩(東急建設)・小瀧光生・篠田功(ADEKA総合設備)
- S1-05 浄化困難な粘性土壌中クロロエチレン類の帯水層への溶出挙動の測定と評価  
○宮川涼・河原知希・田小維・小林剛(横浜国立大学)・山崎祐二・清水考昭(竹中工務店)
- S1-06 GC、GC-MS分析におけるヘリウム使用量の削減  
○榎本幹司(栗田工業)
- S1-07 促進酸化法による1,4-ジオキサンの分解における阻害物質の比較  
○晴山渉(岩手大学)・緒方浩基・西田憲司・佐藤祐輔(大林組)
- S1-08 土壌溶出試験におけるメンブレンフィルターの材質の違いによる分析値への影響  
○藤内健司・長屋敦・森山拓洋(住化分析センター)
- S1-09 物質特性に応じた土壌・地下水汚染の調査・対策方法の検討  
○大石雅也・藤崎幸市郎・山崎祐二・廣田勲・中村太郎(土壌環境センター)
- S1-10 一般廃棄物焼却灰からの脱塩素プロセスの検討  
○淵野裕磨・大矢仁史(北九州市立大学)・石田一聖・山崎健一(丸屋商事)
- S1-11 自然由来の砒素含有土に対する不溶化剤の比較  
○嶋将志・東口陽子・石川敦代(エイト日本技術開発)
- S1-12 シアン汚染地下水拡散防止技術  
○緒方浩基・大西健司・日野良太(大林組)
- S1-13 ふっ素対応の吸着マットの実証試験結果と現場適用  
○笠水上光博(銭高組)・尾崎隆・須藤達也(JFEミネラル)
- S1-14 鉄粉浄化処理技術の基礎的検討  
○設楽和彦(清水建設)・森祐樹(九州大学大学院)・毛利光男・隅倉光博(清水建設)
- S1-15 炭酸カルシウムを使用した酸性地下水の浄化対策に関する実験的検討  
○根岸昌範・小松寛(大成建設)
- S1-16 業務プロセスから見た特定有害物質の使用について(その2)  
○長千佳・奥田清明・山本雅也・大岡啓史・吉田宗久・CSCC WG7(土壌汚染対策コンソーシアム)
- S1-17 液固比バッチ試験の経時的なpHの変化がみられる岩への適用  
○岡本直人・細堀建司・野田典広(基礎地盤コンサルタンツ)・伊藤健一(宮崎大学)
- S1-18 溶出試験における土壌細粒化とほう素溶出の関係  
○木下久美子・野澤笑子(環境材料エンジニアリング)・伊藤健一(宮崎大学)・山本中一(環境材料エンジニアリング)・佐藤努(北海道大学)

- S1-19 バックグラウンド値の決定に関する新しい国際的指針について  
 ○張銘(産業技術総合研究所)・中島誠(土壤環境センター)・田本修一(土木研究所)・肴倉宏史(国立環境研究所)・ISO/TC190検討部会(土壤環境センター)
- S1-20 上向流カラム通水試験における試料充填密度の適用範囲の検討  
 ○藤川拓朗・佐藤研一・古賀千佳嗣(福岡大学)
- S1-21 高塩濃度廃水中のSr除染を目的とした基礎的研究  
 ○澤崎賢人・福谷哲・池上麻衣子(京都大学)
- S1-22 Evaluation of Sustainability on the Sustainable Thermal Accelerated Remediation (STAR) for Soil Remediation- A Pilot Case Study on Heavy End TPH  
 Ya-Hui Lin・Pey-Yang Wu (Environmental Protection Administration)・○Chih Huang (InnuFusion Environmental Management)
- S1-23 機械油汚染地盤の非掘削浄化に関する室内土槽実験  
 ○棚橋秀行・古田淳士・野村凌平(大同大学)

**セッション2 10月8日(口頭発表 13:15~14:25 ポスター発表 14:25~15:25)**

- S2-01 土壌カラムによる揮発性有機塩素化合物の加温時の吸着・脱離挙動の測定と評価  
 ○李京・田小維(横浜国立大学)・山崎祐二・清水孝昭(竹中工務店)・小林剛(横浜国立大学)
- S2-02 原位置生物処理における栄養剤浸透性向上に関する現場試験  
 ○佐藤祐輔・本田ゆう子・緒方浩基・西田憲司・福武健一・日笠山徹巳(大林組)
- S2-03 *Dehalococcoides* sp.UCH007株の汚染帯水層導入前に用いる有機資材の影響  
 ○伊藤雅子・高畑陽(大成建設)・内野佳仁・山副敦司(製品評価技術基盤機構)
- S2-04 二価鉄およびメタン生成菌の共存がクロロエチレン類の嫌氣的脱塩素分解速度へ与える影響  
 ○吉川美穂・張銘・川辺能成(産業技術総合研究所)
- S2-05 ジクロロエチレンの分解定数がクロロエチレンの到達距離に与える影響の基礎的検討  
 ○保高徹生(産業技術総合研究所)
- S2-06 中国における固体廃棄物処理の実例 -日本多機能盛土工法の中国での応用例  
 ○仇啓涵(住化分析上海)・肖潇(南昌航空大学)・伊藤洋(北九州市立大学)・大悟法弘充(住化分析上海)・羽渕博臣(住化分析センター)・唐亮(湖南清藍科技)
- S2-07 太陽熱利用による汚泥の乾燥促進システムの開発  
 ○山田百合子・伊藤洋(北九州市立大学)・小野瑞世(長府工産)
- S2-08 土壌汚染対策の実務における地盤情報データベースの活用について  
 ○藤田祐子・大図啓史・吉田宗久・長千佳・伊藤浩子・WG7(CSCC)
- S2-09 潜在的汚染サイトの調査方法に関する新しい国際的指針について  
 ○賀賀康史・中島誠・角田真之・平田桂・ISO/TC190検討部会(土壤環境センター)
- S2-10 気泡混合土に含まれる界面活性剤の溶出試験方法に関する基礎的検討  
 ○近藤俊介・高畑陽・西田与志雄(大成建設)
- S2-11 乾式磁力選別によるPb, Cr<sup>6+</sup>, CN処理後土壌の長期安定性評価について  
 ○寺島昇吾・吉俊輔・友口勝(DOWAエコシステム)
- S2-12 土壌・地下水汚染の対策時の技術適用に関するアンケートの集計結果について(経年変化と特徴的な事項の考察)  
 ○山下巧・河内幸夫・加洲教雄・松久裕之・技術実集計分科会(土壤環境センター)
- S2-13 自然由来ヒ素含有泥水を弱酸性領域で還流する泥水管理手法に関する実証実験  
 ○大山将・松生隆司・小山孝・阪部久敬(鴻池組)
- S2-14 リン酸カルシウム系資材による低濃度ふっ素地下水吸着試験

○松尾晃治・加藤顕・竹崎聡・柴田健司(大林組)

S2-15 不溶化処理土壌の長期安定性試験結果

○鈴木義彦(栗田工業)・橋本正憲(ランドソリューション)

S2-16 非晶質アルミニウムケイ酸塩での共沈法によるホウ素回収について

○宮原英隆・平井恭正(石原産業)・森本和也・万福和子・鈴木正哉(産業技術総合研究所)

S2-17 セメント系重金属不溶化固化材による土壌の重金属不溶化について

○西川奈那・金沢智彦(日鉄セメント)

S2-18 中国における土壌汚染の現状とファイトレメディエーション展開の可能性(その2)

○張文字・飯野浩成(フジタ)・常文越・趙光輝・劉智・張依然(瀋陽環境科学研究所)

S2-19 仮置き山中の掘削頁岩からの重金属等放出濃度の違いと放出性を支配する化学的要因

○鈴木奨士・加藤雅彦(明治大学)・三浦俊彦・井出一貴(大林組)・伊藤健一(宮崎大学)

S2-20 ハンドヘルド蛍光X線分析の精度向上を図るための土壌標準物質の開発

○中條邦英・土屋秀二・辻下真貴・門間聖子(応用地質)

S2-21 森林生態系の堆積腐植層における土壌微生物バイオマスのセシウム保持について

○立石貴浩・門間眸・颯田尚哉・石川奈緒・築城幹典(岩手大学)

S2-22 油で汚染された沖縄特有の土壌(国頭マージ)の栄養塩・琉球石灰岩砕添加によるバイオレメディエーションに関する研究

○中野拓治・崎濱秀明・松田幸弘・蔵当三紀夫・村田憲久(沖縄汚染土壌浄化技術研究会)・高畑陽(大成建設)

### セッション3 10月8日(口頭発表 16:20~17:30 ポスター発表 17:30~18:30)

S3-01 鉄粉によるVOC土壌・地下水汚染の原位置分解～大型地盤改良機を用いた地中攪拌工法～

○雫靖昭(JFEミネラル)・大住学・中島之幾(小野田ケミコ)

S3-02 地下水流速の大きい地盤汚染現場における原位置バイオ工法の開発

○本田ゆう子・西田憲司・佐藤祐輔・日笠山徹巳・緒方浩基(大林組)

S3-03 透過性地下水浄化壁の長期耐久性評価事例(その2)

○中平淳・根岸昌範(大成建設)

S3-04 土壌・地下水汚染調査段階へのCSM手法の適用に関するケーススタディ

○柴田健幹・和知剛・長千佳・有馬孝彦・奥田信康(土壌環境センター)

S3-05 サステイナブル・レメディエーションはわが国の土壌汚染対策の枠組みに馴染むのか?

○中島誠・佐藤徹朗(国際航業)

S3-06 廃棄物を活用した石炭灰からの規制対象元素の溶出抑制技術の開発part II

○吉井清隆・長尾有記・仁木豊明・吉田洋一(宇部興産)

S3-07 パッシブトリートメントによる硫黄山酸性濁水中和処理の検討

○伊藤健一・鈴木祥広(宮崎大学)

S3-08 大規模不法投棄現場東側の地下水水質変動と浄化に関する検討

○颯田尚哉・立石貴浩・外館咲希・千葉大輔(岩手大学)

S3-09 中国土壌汚染防治法施行後の工場の土壌汚染リスクと対応

○山内仁・侯曹正陽・雷鳴・王寧(恩拜欧(エンバイオ南京)環保科技)・松井一(損保ジャパン日本興亜)

S3-10 Sustainable Remediation white paperの公開

○保高徹生(産業技術総合研究)・中島誠(国際航業)・古川靖英(竹中工務店)・巢山廣美(出光・昭和シェル石油)・名取雄太(東京都環境局)・鈴木寿一(キヤノン)

- S3-11 乾式磁力選別処理による重金属等を含むトンネル掘削土の処理事例  
高橋康朗(中日本高速道路)・岩田幸一(市川工務店)・友口勝・○吉俊輔(DOWAエコシステム)
- S3-12 接触酸化処理方式を用いた大規模(約10、000m<sup>3</sup>/日)ヒ素処理プラントの建設・運用  
○西村拓朗・蔡惠良・柳本洋一・山中博(ナガオカ)
- S3-13 地下水透過性壁による地下水の中和およびふっ素浄化の実証実験(その3)  
○加藤頭・日笠山徹巳(大林組)
- S3-14 貝殻等から作製したフッ化物イオン吸着材の吸着条件および吸着メカニズムについて  
○野澤拓・晴山渉(岩手大学)・遠藤哲也(セロリ)
- S3-15 生分解性キレート剤を用いた砒素含有掘削土の浸漬洗浄に関する基礎検討  
○山崎将義(西松建設)・齋藤誠・石井健斗(金沢大学大学院)・地井直行・石渡寛之(西松建設)・長谷川浩(金沢大学)
- S3-16 海成堆積物の環境汚染リスクに影響を及ぼす因子の検討  
○石山高・八戸昭一・濱元栄起・柿本貴志・渡邊圭司(埼玉県環境科学国際センター)
- S3-17 土壌汚染対策から見た大阪平野の海成粘土と地下水位について  
○一宮夕貴・岡田啓・大関啓史・吉田宗久・長千佳(土壌汚染対策コンソーシアム)
- S3-18 原位置不溶化処理に伴う地盤内汚染物質の挙動に関する数値解析事例  
日野良太・○福武健一・西田憲司・三浦俊彦・日笠山徹巳(大林組)・江種伸之(和歌山大学)
- S3-19 不飽和浸透流下における土壌および吸着剤の重金属吸着性能評価  
○伊藤洋・山田百合子・高橋雅和(北九州市立大学)
- S3-20 シート状吸着材の吸着特性評価方法の検討(その3)  
○宮脇健太郎・井手瞭・伊藤崇介(明星大学)・下田宏治(東洋紡)・西岡国夫(呉羽テック)
- S3-21 マンガン系吸着剤を用いたセシウム拡散防止剤の開発  
○苑田晃成(産業技術総合研究所)
- S3-22 重油汚染土壌の酸化分解による浄化検討  
○横山圭一(ジオテクノス)・田中裕一(五洋建設)

**セッション4 10月9日(口頭発表 9:30~10:40 ポスター発表 10:40~11:40)**

- S4-01 不飽和土壌中での揮発性有機塩素化合物の油共存による気化・拡散への影響  
○林知美・黒井えみ・末継淳・田小維・小林剛(横浜国立大学)
- S4-02 クロロエチレン類を対象とした加温バイオオーグメンテーションの検討  
○山崎祐二・奥田信康(竹中工務店)・吉田奈央子(名古屋工業大学)
- S4-03 薬剤注入による土壌・地下水汚染浄化工法の検討  
○長谷川展男・高木一成(地盤環境エンジニアリング)
- S4-04 1,4-ジオキサン分解菌N23株を用いた有機塩素化合物の分解評価  
○渡邊亮哉・山本哲史・斎藤祐二(大成建設)
- S4-05 大規模地下水汚染の事例と特性  
○鈴木弘明・中島誠・菊池毅・日笠山徹巳・門間聖子・土壌・地下水汚染の総合的な対応に関する検討分科会(土壌環境センター)
- S4-06 土砂が入らない鋼矢板継手の打設試験結果  
○嶽本政宏・阿部和久・森拓雄・黒岩正夫(大林組)
- S4-07 民家井の簡易電気検層を活用した地下水汚染機構解明事例

○岩井久美子・小原崇嗣・田村嘉之・楠田隆(千葉県環境財団)

S4-08 インドネシアにおける汚染土壌回復ガイドラインの概要

○松本茂・石黒圭子・白井昌洋(イー・アンド・イー ソリューションズ)

S4-09 Domenico理論解の精度と適用性に関する一考察

○古屋光啓(清水建設)

S4-10 土壌・地下水汚染の対策時の技術適用に関するアンケートの集計結果について(平成29年度実態調査)

○友口勝・阿部美紀也・折茂芳則・大橋貴志・技術実態集計分科会(土壌環境センター)

S4-11 無機溶媒を用いた水銀汚染土壌の洗浄処理工法の現場適用

○花木陽人・岩本茂・大山将(鴻池組)・川上嘉充・武島俊達(エコサイクル)・島岡隆行(九州大学)

S4-12 遮水層併用型の吸着層工法の開発ー数値解析に基づく盛土内の移流分散予測その4ー

○鈴木和明・西田憲司(大林組)・保高徹生(産業技術総合研究所)・三浦俊彦・森下智貴(大林組)・平井恭正(石原産業)

S4-13 ホウ素吸着用非晶質アルミニウムケイ酸塩生成時における陰イオンの影響

万福和子・森本和也・○鈴木正哉(産業技術総合研究所)・宮原英隆・平井恭正(石原産業)

S4-14 不溶化処理土の長期安定性に関する検討 その2

○七尾舞・森喜彦・松山祐介・守屋政彦・肥後康秀(太平洋セメント)

S4-15 吸着材選定のためのデータ駆動解析を用いた土壌へのヒ素吸着機構の推定

○中村謙吾・駒井武(東北大学)

S4-16 バイオ製剤による六価クロム汚染土壌のトリートビリティ試験結果

○内田篤貴(日本物理探査)・岩橋さおり・鴻野雅一(バイオレンジャーズ)

S4-17 溶液中ヒ素/鉄粉の吸着形態におけるXAFSダイレクト分析

○飯島勝之・古田智之(神戸製鋼所)

S4-18 井戸配管に起因する鉛環境基準値超過事例の調査

○柿本貴志・石山高・濱元栄起・八戸昭一(埼玉県環境科学国際センター)

S4-19 自然由来重金属等含有土壌・岩石の適正利用支援ツールの検討

○長谷川怜思・熱田真一・奥村正孝・湯浅忠・門間聖子・自然由来重金属等含有土壌・岩石の適正な利用に関する検討部会(土壌環境センター)

S4-20 トンネル掘削岩からの有害元素溶出におよぼすスレーキング効果の定量的評価

○原淳子・川辺能成・張銘(産業技術総合研究所)・吉俊輔・友口勝(DOWAエコシステム)

S4-21 高濃度で重金属等を含む建設発生土の溶出特性と液固比バッチ試験とカラム試験の比較検討

○野田典広・岡本直人・細堀建司(基礎地盤コンサルタンツ)

S4-22 地下水中の放射性セシウムー福島県浜通り、中通りおよび会津での調査結果

○藤川陽子・谷口文紀(京都大学)・国分宏城・橋本芳・村沢直治(福島県環境創造センター)・静間清(広島大学)

S4-23 ナノファイバーを使った簡易孔内油層回収機器の開発と実施事例

○打木弘一(基礎地盤コンサルタンツ)

セッション5 10月9日(口頭発表 13:30~14:40 ポスター発表 14:40~15:40)

- S5-01 揮発性有機化合物(VOCs)の地下水汚染に対する嫌気性バイオレメディエーション工法における地下水水質の変化  
○北條友貴・鈴木慶・野村知哉・坂井敬一(JFEミネラル)
- S5-02 資材散布による揮発性有機化合物の揮発抑制効果確認  
○日野良太・大西健司・大島義徳・西川直仁(大林組)
- S5-03 電気発熱法を併用した土壌ガス吸引対策における浄化促進効果  
○塩谷剛・奥津徳也・田村渉(栗田工業)・長曾哲夫(島津製作所)
- S5-04 打込み式電極注入管を用いた実地盤の加熱実証試験  
○須網功二・高畑陽・樋口雄一(大成建設)
- S5-05 塩素化エタン類の分解経路と分解速度について  
○張銘・吉川美穂(産業技術総合研究所)
- S5-06 揮発性有機塩素化合物の不飽帯での吸着・吸収特性と土壌特性との関係  
○小林剛・末継淳・田小維(横浜国立大学)
- S5-07 不飽和汚染土壌からの揮発フラックス予測モデルの構築  
○坂本靖英・川辺能成(産業技術総合研究所)・中村謙吾・駒井武(東北大)
- S5-08 中国の土壌汚染防止法とその影響  
○羽瀧博臣(住化分析センター)・仇啓涵・大悟法弘充(住化分析技術上海)・肖潇(南昌航空大学)・冷健雄(江西智匯環境技術)
- S5-09 業務効率化のための汚染状況三次元モデルの構築  
○岩崎広江・松村綾子・金子伯男(大成建設)
- S5-10 スマートフォンを活用した掘削出来形の管理技術  
○竹崎聡・佐波弘一朗・田島僚・柴田健司・黒岩正夫(大林組)
- S5-11 人工構造物周辺の地下水流動及び水質変動解析  
○谷口文紀・藤川陽子(京都大学)・国分宏城・橋本芳・村沢直治(福島県環境創造センター)・尾崎博明(大阪産業大学)
- S5-12 土壌・地下水汚染の三次元可視化モデルの有効性について  
○佐藤徹朗・坂本拓二・伊藤哲緒・中島誠(国際航業)
- S5-13 トンネル掘削ずり盛土内の砒素の挙動把握に関する研究ー原位置試験と室内溶出試験からのデータを用いた数値解析ー  
○倉品悠・大塚義一・岩本容昭・太田博光(奥村組)・森田修二(ハイドロ総合技術研究所)・大河原正文(岩手大学)
- S5-14 シアンを対象とした透過性地下水浄化壁の開発  
日野良太・○大西健司・緒方浩基・西川直仁(大林組)
- S5-15 高濃度の水銀汚染に適応できる土壌溶媒洗浄技術に関する基礎的研究  
○名古屋尚宏・小宮哲平・梶野友貴・島岡隆行(九州大学)・花木陽人(鴻池組)
- S5-16 吸着層工法を模した土研式暴露試験における吸着材の評価  
○森田一太・平井恭正(石原産業)・西田憲司・三浦俊彦・森下智貴(大林組)・保高徹生(産業技術総合研究所)
- S5-17 シート状吸着材の重金属イオン吸着特性評価(その3)  
稲富伸一郎・石川雅洋・下田宏治(東洋紡)・○西岡国夫(呉羽テック)・宮脇健太郎(明星大学)
- S5-18 GISを活用した土壌汚染リスク評価の精度向上に関する検討  
○杉谷晋一・藤井なつみ・小島愛・林美智子(アースアプレイザル九州)・石原与四郎(福岡大学)

- S5-19 長期安定性評価にむけた還元処理試験における掘削岩からのヒ素放出挙動  
○中居萌恵(明治大学)・肴倉宏史(国立環境研究所)・加藤雅彦(明治大学)
- S5-20 反復還元抽出法—人為・自然由来有害物質含有土の新判定法の開発  
○上島雅人・肴倉宏史(国立環境研究所)
- S5-21 六価クロム分析における試薬添加間隔の違いによる測定結果の差について  
○川崎伸夫・大島雄三・村橋輝紀・右田義臣・天日美薫(九州環境管理協会)
- S5-22 沖縄中南部モデル土壌を用いた重油汚染の浄化試験と、重油分解細菌叢の馴化モニタリング(その2)  
○上地輝(環境科学センター)・田邊俊朗(沖縄高専)・貝沼真(OIST)・照屋正悟(照屋土建)

**セッション6 10月9日(口頭発表 15:45~16:55 ポスター発表 16:55~17:55)**

- S6-01 ワインの搾りかすを用いたVOC汚染浄化に関する検討(その3)  
○大橋貴志(NIPPO)・高橋季之(JXTGエネルギー)・井上潤一(シナプテック)・山口和昭(アバンス)・大保義秋(日建商事)・大熊盛也(理化学研究所)
- S6-02 大豆ホエーを活用した嫌気性バイオレメディエーションの適用事例  
○川原直城・吉田憲生・藤原啓(中外テクノス)・佐藤匠・桂敦也(不二製油)・芦田茂(不二製油グループ本社)
- S6-03 土壌・地下水汚染に対する地下水モニタリング措置の検討  
○高畑陽・古屋光啓・舟川将史・佐藤徹朗・CSM・モニタリングを活用した土壌・地下水汚染の管理手法検討部会(土壌環境センター)
- S6-04 ビア樽を用いた*Dehalococcoides mccartyi* NIT01株の大量培養  
○森田悠揮・日下部俊弥・吉田奈央子(名古屋工業大学)
- S6-05 鉄酸化細菌による酸性水の溶存鉄浄化実験  
○大日向昭彦・岡崎健治・倉橋稔幸(土木研究所寒地土木研究所)・田本修一(土木研究所)
- S6-06 掘削ざりから浸出する酸性水の中和処理についての検討事例  
高畑修・桑原充(福島県)・○宮口新治・大野敦史・宮田彰・柴田健幹(応用地質)
- S6-07 土壌汚染対策法の現場における課題  
○村橋輝紀・服部聡・川崎伸夫(九州環境管理協会)
- S6-08 機械学習による都市鉱山リサイクル技術の開発  
○寺田望海・大矢仁史(北九州市立大学)・小森裕司(アステック入江)・太屋岡篤憲(北九州高専)
- S6-09 石炭灰土壌改良資材の有害物質溶出試験と植物栽培試験について  
○仁木豊明・吉井清隆・吉田洋一(宇部興産)
- S6-10 既製杭施工時の汚染拡散防止と汚泥無害化(その3)  
○田中薫・三浦俊彦・森下智貴・長沼剛・西田憲司・光本純(大林組)
- S6-11 簡易遮水層併用型の吸着層工法の開発—数値解析に基づく盛土内の移流分散予測その5—  
○西田憲司・鈴木和明・三浦俊彦・森下智貴(大林組)・保高徹生(産業技術総合研究所)・平井恭正(石原産業)
- S6-12 クロムの酸化還元・吸着特性に着目したカラム試験系の再現解析  
○羽根幸司・並川正・森川誠司・伊藤圭二郎(鹿島建設)・森康二(ブルーアースセキュリティ)・広城吉成(九州大学)
- S6-13 酸化マグネシウムによる重金属の不溶化機構の解明に関する基礎的検討その3  
○森喜彦・松山祐介・肥後康秀・守屋政彦(太平洋セメント)
- S6-14 液固比変化試験による不溶化性能評価法の確立に向けた掘削岩の不溶化処理に伴うヒ素放出挙動  
○八谷葉瑠花(明治大学)・肴倉宏史(国立環境研究所)・加藤雅彦(明治大学)
- S6-15 使用済ヒ素吸着材の環境安定性に及ぼすケイ酸の影響—カルシウム系吸着材—

○杉田創・小熊輝美・張銘・原淳子・川辺能成(産業技術総合研究所)

S6-16 仮置きズリの経時変化に伴うヒ素の溶出量と含有量の調査事例

○岡崎健治・倉橋稔幸・田本修一(土木研究所)

S6-17 吸着材・不溶化材等の性能評価に向けた収着-溶出試験の検討

○野澤笑子・木下久美子(環境材料エンジニアリング)・伊藤健一(宮崎大学)・山本中一(環境材料エンジニアリング)・佐藤努(北海道大学)

S6-18 石炭灰混合材料の微量元素の溶出特性と砂質土における移行挙動の評価

○小川翔平・井野場誠治(電力中央研究所)

S6-19 DNAアプタマーを用いた簡易蛍光ヒ素測定法の開発

○佐藤久・小野寺岳史郎・松永光司(北海道大学)・平野麗子(セルスペクト)・中原禎仁(三菱ケミカルアクア・ソリューションズ)

S6-20 吸水性ポリマーを使用したトリチウム汚染水の処理方法の検討

○大石徹(日鉄セメント)・桧垣正吾(東京大学)

S6-21 森林土壌中Cs移動メカニズムにおけるコロイドの寄与について

○島田洋子・米田稔・福谷哲・池上麻衣子(京都大学)・颯田尚哉・菅原大輔(岩手大学)

S6-22 油汚染土壌バイオパイル処理における効果的な酸素供給方法の解析的検討

○石森洋行(国立環境研究所)・河村大樹(熊谷組)